

第

41回卒業式を挙行。去る3月1日卒業式が厳粛に挙行された。3年生16名が、父母・来賓・教職員・在校生の見守る中、晴れやかに卒業証書を手にした。3年間の高校生活が思い出され、卒業生には、何か感慨深い中にも落ち着いた雰囲気での式であった。これからは社会人として、立派に活躍して頂きたいと思うところです。

危

除物取扱者試験免状取得者表彰を受ける。去る3月17日、3年生の知本光央君が、(財)消防試験センター北海道支部から表彰状を授与された。この表彰は、高校在学中に、危険物取扱者試験の1種から6種までの6免許状を手にした者に与えられる表彰である。道内の普通科では本年度18名しかいないとの事である。

専門学科以外の普通科での受賞であり、大したものである。これも偏に、本校振興会の協力のお陰と感謝している次第です。無料で受検できる体制は、他校では考えられず、生徒への大きな刺激になっていると思つた次第です。また、平成16年度からは、検定合格者へ、単位修得も認定する事になりました。更なる生徒の発憤を期待するところです。

離

任式行われる。去る3月24日に離任式が行われた。今年は、次の6名の教職員の方が浦幌高校を去ることに成りました。転出なされる先生方に成り代わりまして、一言お礼を申し上げます。長きに渡り、地域の皆様、色々とご協力頂き、誠に有り難うございました。浦幌高校での経験を更新地でも大いに生かし、更なるご活躍を願うもので

- す。本当に、町民の皆様有り難うございました。心からお礼申し上げます。
- 転出者
- 溜 雅幸教頭(滝川高校)
 - 林 美季先生(歌志内高校)
 - 岡田 俊哉先生(白糖(糠)高校)
 - 坂東 成先生(帯広農業高校)
 - 金谷 純一(事務主任)(利尻高校)
 - 福田 武司先生(岩内高校)(溜教頭)

国民年金は、国が運営する将来の確かな支えです。
「国民年金がもらえなくなるかも」は誤解です

年

年金を受けられる要件をすべて満たした時は、社会保険庁長官に裁定の請求を行います。

間がある人は社会保険事務所)に提出します。

必要な手続きと届け出書類

裁定の請求を行う場合は、社会保険事務所に備付けの裁定請求書に、必要事項を記入し、必要な書類を添えて市区町村(厚生年金及び3号被保険者期間などの期

老齢給付(基礎年金・厚生年金)の裁定請求をしようとするとき
 国民年金・厚生年金保険老齢給付裁定請求書と年金



手帳・戸籍の抄本または市区町村長の証明
障害基礎年金の裁定請求をしようとするとき

国民年金障害基礎年金裁定請求書と年金手帳、戸籍の抄本または市区町村長の証明、医師または歯科医師の診断書、病歴・就労状況等申立書
遺族基礎年金の裁定請求をしようとするとき

国民年金遺族基礎年金裁定請求書と死亡した人の年金手帳(被保険者証)、身分関係を明らかにできる戸籍の謄本、死亡診断書
寡婦年金の裁定請求をしようとするとき
 寡婦年金裁定請求書と夫の年金手帳、夫および受給権者の戸籍の抄本
死亡一時金の裁定請求をしようとするとき
 死亡一時金裁定請求書と死亡者の年金手帳、死亡者および請求者の戸籍の抄本
 お問合せは、役場住民課 住民年金係(内線113)まで

はぐくむ

その子に即した子育てを

子どもは常に成長し続けます。その成長をしていく上で、「ができるようになってほしい」という願いから、その子にはまだ無理なことを無理にやらせようとすると、必ず不適応を起すものです。

よくありがちなことですが「なんでもできる子」であったりすると、つい親は過剰に期待してむずかしい事もやらせようとし、子どもに過重な負担をかけたりします。まだそこで止まればよいのですが、無理にでもさせればストレスとともに、歪んだ心が生じることにつながっていきます。

それとは逆に「あなたは無理だから」という挫折感を与えて、「やる気」をなくしてしまう場合もあります。成長には個人差があるのです。上の子の時がこうだったから、下の子も全く同じようにはなりません。大切なのは、親はその子の成長の様子を見極めて、「今、この子に必要なこと」を教え、助けてあげることです。それには、その子の成長に合わせた、その子に即した育て方をすることが大切です。

育児書に頼る方もいますが、あくまでも育児書は参考であり、そうでなければならぬのではなく、育児書のとおりやれば、その子にとって無理なこともあるのです。子育ては育児書が育てるのではなく、親が子どもの様子をよく見て育てることです。



子どもの成長に即した「しつけ」の5つの基本

子どもの成長の度合いにあわせる
幼児や低学年の子どもには、楽しくやってみせて、繰り返しやらせてみましょう。中・高学年の子どもには、もっとよい方法はないか考えさせて、やらせてみましょう。

子どもの気持ちを大切に

「さんはい」ができるのに……と、他の子と比較されると子どもの心は傷つきます。その子なりに頑張っている時や自分からやろうとする意欲を見せた時は、積極的にほめて、励まして、認めてあげましょう。

常に一貫した態度で

しつけは、常に一貫した態度が大切です。「今日は、まあいいや」では、習慣はつきません。子どもが忘れていた時は、その場で「なにか忘れていませんか」とニッコリと顔をのぞくと「あっ」と気づくはず。しつこく言うのは逆効果です。

工夫をさせる

「どついたら、忘れないかな」、「何かいい工夫はないかな」、「どついたら、きれいになるだろうか」など工夫をさせましょう。

無理なく実行させる

習慣をつけるには、急がず気長にかまえて根気よく育てましょう。

「今回で、荒井正春先生の子育て教育相談」を終了させていただきます。」